

声

業界の



● 山梨県バス事業協同組合

副理事長 大木 俊隆氏

業界の現況は？

3月11日に発生した東日本大震災から数ヶ月経過しましたが、震災後、当業界においても様々な影響が出てきています。今回の震災は未だかつてない大きな被害をもたらしているため、観光業を主とする当業界では、旅客消費者のマインド低下、自粛等による観光活動の減少、外国人旅行者の減少等が痛手となっています。震災直後には、バスの予約キャンセルが8〜9割となった他、4月まで行われていた計画停車も大きな影響を与えました。観光イベント等の中止、停電の影響による旅館の休業等、バスの利用が大幅に減少しました。4月、5月はお花見やゴールデンウィークがあり、当業界にとってはバスの利用客が増える時期ではあるのですが、東北地方のお花見プランの減少や利用客の減少、またゴールデンウィークも消費者のマインド低下等があり、期待した売上にはなりませんでした。

その他、ジワジワと値段が高騰しているガソリンも、当業界にとっては厳しいものとなっています。

今後の展開は？

当業界にとって年間で1番売上が期待できるのが、秋の観光シーズンです。秋は、団体客が年間で1番動く時期となっていますので、当業界も期待を寄せています。今年度は震災の影響もあり、どれだけ旅行者客が観光を楽しんでいただけるかわかりませんが、当業界もそのシーズンに向けて力を入れていきたいと思えます。また、当業界にとって明るい兆しとなったのが、東京ディズニーリゾートの営業再開です。東京ディズニーリゾートは根強い人気を誇っていますので、それらへのツアーにも期待をしています。その他、今回の震災を受けて、被災地復興に力を貸したいというボランティアを希望する方々からの要望により、今後、ボランティア派遣ツアーも検討していきたいと思えます。

